

此土產物
ヒスイ及高麗焼を御
價格は精々勉強致ます
電氣會社前(電話九四四番)
商 伊藤實古堂

一十一 日 言 着
 章駐員支那公使及び同夫人の一行十
 余は日本の現内閣にて

臨時土地調査局の測地及び細部測
の外部作業検査に任すべき局長

國種獸男の葬儀は未だ確定せざるも華
内總督は其の際生花一對を寄贈すを

府三郡の私立學校教員講習會 帶百五十
の筈にて二十二日午前八時より 九百四十

是れを先月に見するに
速帶百七噸を減したり

海關全

電話一〇五番 特約店 守野

彩尼

桃川如燕口演
上卷二部速記

お家のためにならんから拙者が申上
げて賄を出して丁つた位だ、決して
心遣ひ無用に致され其れと違つて某
公の武名は天下に響き渡つて居る、
武士として宮本を知らんものはない
位殿も大層お喜びでは是非宮本に
遇たいと仰しやつてお待たせから拙
者と一緖に御前にお出なさい、武有
難き使せ、然らばは目通り願ひませ
う」と宮本衣服を更めて監物の室内
にて御前へ出てお目通り致す、越中
守忠利侯「忠」武藏出てたか武「ハ、ッ
忠」氏は越中であるぞ、近頃の進め
武「御目通り仰付らる有難き仕合せ
に存じ奉ります、武」其方の武名は
聞及ぶ、予も武藏熱心ぢや、其方に
勝てより一度遊びたいと思つて居た
幸ひの見察何より喜ばしく思ふ、
武「恐入りました御座、武藏身に取り
如何御請かり……」忠「予も満足にや
らぬ者を持てハッ」と言へるや
した、監物側より「監」御託御尤もな
がら武藏も御前に於て御御客も成り
兼ねませう、何事も拙者へお任せで
置かれませう、監「ア、左様か」
然らば其方に任せ、監「バツ委細心
に致しまして様なれば云にて」
と拙で宮本も御禮申上げて退出いた
しましたが、越中守忠利侯「一目御覽
なされてからさといふのは非常の御
平壤黄金町大同館通
皮膚唐生殖藥科
岡病院
森造醫學士
電話一六九番

町人へ賣り拂ふ事になりました。所
僅し天下に二つとない結構な品だ
から、京都の金持町人が買いた
いは違ひないが、賣人が郷里越中
といふ大名、若し後日に至つてお
めでも買つては大變と、所司代
板倉伊賀守が、内々伺ひ出てま
した所が、板倉伊賀守が郷里で全
手大用事があつて賣拂はとてあ
れは相當の價を以て買取るに決し
てゐたから、望みの者は遠慮なく
買取つて宜いといふ所司代から免
しが取ましたから、町人は安心し
て高價に買取りました。

[illegible]

大正館

日本紡績株式會社電話代店
 電話 八三三
 大正館

七五五より大正館
 電話 八三三
 大正館

世界の大大大活動ハートの3
 大正館

大正館

來れ、黃金館に
 教育家、學生、人の親、人の子、必覺の要あり
 史蹟五郎正宗孝子傳

[illegible]

本願寺町西花壇
 京城若草町西花壇
 御料理は衛生的にして極手料理
 土用鰻は特別に大飽強張り屋
 一段の安といは主人の自慢

西花壇

(Patented in Japan, Great Britain and U.S.A.)

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS.

MITSUWA COD-LIVER OIL DROPS. 120 in a bottle ... ￥ 1.20
 MITSUWA COMPOUND COD-LIVER OIL DROPS. 100 drops in a bottle ... ￥ 1.20

Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops are round-candy drops of small size, fragrant and pleasant to the taste. Each contains a guaranteed amount of one gram of Cod-Liver Oil. In its nourishing quality, taken without taxing the stomach, taken in so small a size, the Mitsuwa Cod-Liver Oil Drops far surpass any other cod-liver oil preparations on the market.
 — Mitsuwa Compound Cod-Liver Oil Drops differ in that they contain one-half amount of Cod-Liver Oil and are Supplemented with albumen, and a further addition of the effective element of iron, lime and phosphorus quinine.

料壯強養滋

(圖寫縮品現)

山崎國本英及邦本
 許特賣專

肝油ドロップス

甚しき臭味を忍びて肝油を飲用すべき時代は去り
 河合龜太郎氏創製

肝油ドロップス
 複方肝油ドロップス

肝油含量一割一瓦にして麥粉及可溶性含葉素物を以て成る滋養強壯料なり
 肝油の含量を半減して、信機鐵、信機燐及び石灰、却那寧を含有せしむ

肝油が一般の虛弱者、羸瘦者、結核性貧血者、營養不良に起因する眼病患者、腺病質の兒童等に對し、治療上頗くべからざる滋養劑として内科、眼科、小兒科等の醫家に處方せられ、卓効を奏するは、醫藥上の定論なり、然れども其特有の臭味、甚だしく不快なるが故に、其服用を嫌忌せらるゝを慨し、河合氏多年苦心研究の結果、形狀完全にして、分布極めて細密、美味無臭にして而かも容易に食物を基礎とし、肝油ドロップスを一瓦宛を正確に含有し、本品は從來の肝油諸製品に優り、服用に面倒なる手數、攜帶の不便、吸收の迅速なる等の缺點なく、殆ど本質の肝油たる事を忘れ、兒童は勿論何人も好んで食用し得る、隨處の饌と雖も、冬季と異なる事なく消化吸収の作用頗る良好なる事とは本品の最も優秀なる特色とする所也

肝油含量一割一グラム				
一日一回乃至三回服用				
五歳以下	四歳以下	三歳以下	二歳以下	一歳以下
一回二粒	一回二粒	一回二粒	一回二粒	一回二粒
二回二粒	二回二粒	二回二粒	二回二粒	二回二粒
三回二粒	三回二粒	三回二粒	三回二粒	三回二粒
四回二粒	四回二粒	四回二粒	四回二粒	四回二粒
五回二粒	五回二粒	五回二粒	五回二粒	五回二粒
六回二粒	六回二粒	六回二粒	六回二粒	六回二粒
七回二粒	七回二粒	七回二粒	七回二粒	七回二粒
八回二粒	八回二粒	八回二粒	八回二粒	八回二粒
九回二粒	九回二粒	九回二粒	九回二粒	九回二粒
十回二粒	十回二粒	十回二粒	十回二粒	十回二粒
十一回二粒	十一回二粒	十一回二粒	十一回二粒	十一回二粒
十二回二粒	十二回二粒	十二回二粒	十二回二粒	十二回二粒
十三回二粒	十三回二粒	十三回二粒	十三回二粒	十三回二粒
十四回二粒	十四回二粒	十四回二粒	十四回二粒	十四回二粒
十五回二粒	十五回二粒	十五回二粒	十五回二粒	十五回二粒
十六回二粒	十六回二粒	十六回二粒	十六回二粒	十六回二粒
十七回二粒	十七回二粒	十七回二粒	十七回二粒	十七回二粒
十八回二粒	十八回二粒	十八回二粒	十八回二粒	十八回二粒
十九回二粒	十九回二粒	十九回二粒	十九回二粒	十九回二粒
二十回二粒	二十回二粒	二十回二粒	二十回二粒	二十回二粒
二十一回二粒	二十一回二粒	二十一回二粒	二十一回二粒	二十一回二粒
二十二回二粒	二十二回二粒	二十二回二粒	二十二回二粒	二十二回二粒
二十三回二粒	二十三回二粒	二十三回二粒	二十三回二粒	二十三回二粒
二十四回二粒	二十四回二粒	二十四回二粒	二十四回二粒	二十四回二粒
二十五回二粒	二十五回二粒	二十五回二粒	二十五回二粒	二十五回二粒
二十六回二粒	二十六回二粒	二十六回二粒	二十六回二粒	二十六回二粒
二十七回二粒	二十七回二粒	二十七回二粒	二十七回二粒	二十七回二粒
二十八回二粒	二十八回二粒	二十八回二粒	二十八回二粒	二十八回二粒
二十九回二粒	二十九回二粒	二十九回二粒	二十九回二粒	二十九回二粒
三十回二粒	三十回二粒	三十回二粒	三十回二粒	三十回二粒
三十一回二粒	三十一回二粒	三十一回二粒	三十一回二粒	三十一回二粒
三十二回二粒	三十二回二粒	三十二回二粒	三十二回二粒	三十二回二粒
三十三回二粒	三十三回二粒	三十三回二粒	三十三回二粒	三十三回二粒
三十四回二粒	三十四回二粒	三十四回二粒	三十四回二粒	三十四回二粒
三十五回二粒	三十五回二粒	三十五回二粒	三十五回二粒	三十五回二粒
三十六回二粒	三十六回二粒	三十六回二粒	三十六回二粒	三十六回二粒
三十七回二粒	三十七回二粒	三十七回二粒	三十七回二粒	三十七回二粒
三十八回二粒	三十八回二粒	三十八回二粒	三十八回二粒	三十八回二粒
三十九回二粒	三十九回二粒	三十九回二粒	三十九回二粒	三十九回二粒
四十回二粒	四十回二粒	四十回二粒	四十回二粒	四十回二粒
四十一回二粒	四十一回二粒	四十一回二粒	四十一回二粒	四十一回二粒
四十二回二粒	四十二回二粒	四十二回二粒	四十二回二粒	四十二回二粒
四十三回二粒	四十三回二粒	四十三回二粒	四十三回二粒	四十三回二粒
四十四回二粒	四十四回二粒	四十四回二粒	四十四回二粒	四十四回二粒
四十五回二粒	四十五回二粒	四十五回二粒	四十五回二粒	四十五回二粒
四十六回二粒	四十六回二粒	四十六回二粒	四十六回二粒	四十六回二粒
四十七回二粒	四十七回二粒	四十七回二粒	四十七回二粒	四十七回二粒
四十八回二粒	四十八回二粒	四十八回二粒	四十八回二粒	四十八回二粒
四十九回二粒	四十九回二粒	四十九回二粒	四十九回二粒	四十九回二粒
五十回二粒	五十回二粒	五十回二粒	五十回二粒	五十回二粒

藥庭家ワツミ 驗石ワツミ

東京日本橋區日本橋一丁目四番 丸見屋商店 東京日本橋區日本橋一丁目四番 丸見屋商店

素顔の美しくさ

レイト乳白化粧水の精分は飽く迄地肌を美しくする特種の化学的力を持って居りますから附けて生地に浸み込んだら幾何強い日光を受けても日焦せぬのみでなく常に涼しく氣を清々浮脂を押へて肌合を滑かにさせますから白粉の附を殊によく致させます。

是非……湯上りに

(香ひだけでも心地のよい)……

官内省
皇后官服
各官家用品御

レイト乳白化粧水

附けて涼しく肌理を細まかに色艶をよくし
日焦を防ぎ浮脂を押へて素顔を美しくす

夏は一寸した病氣も御用心が肝心

替化堂にはよい薬がある事を

常々から御承知下さい

京城本町二丁目角

古城替化堂

電話一〇三番 替化七三七番

一〇七年萬

特價發賣以來其完全無缺なる活動家ノ携帶品として至便なる點に於て到る處最高評を博し豫期以上の好成績を収たれば聊か謝意を表する爲跡五千本を限り特價六十四錢(無税時金口匣)京城日報社代理部

平 發 尼 平

鈴
穆

朝鮮に於ては古來國家の財産と王宮の財産との區別存せず、民有の財産なきものは總て之を王宮の財産と爲し、概近に至り國有財産、王室財産及び民有財産を區別し、其の整理をなしたる事あるも、未だ其の明確を缺くもの甚だ多く、人民の權利思想を漸く發達したる今日に於ては、尙ほ所有權の歸屬に關し甚多の疑義を生じ、紛糾を見るに至れり。又往昔稅政、地稅、民地を官地とし、又は其の收益を酌減せるが如きものに在りては、土地調査の開始せらるゝや民有を主張し、土地の還歸を申請するもの續出せり。土地の還歸は數十年前に於ては、民有なきは數十年前に於ては、内地人に就ても併合以前にありては他の外人と同じく居留地、地域、里口外にありては公然土地の所有を認めざるを以て、勢ひ鮮人名義を用ひ、或は私に自己の名義を以てする等々、みに條約及び法規を以てりて土地所有をなすの止むを得ざるものありしが保護政治施行以來内地人の勢力漸次強大となるに及び、此種土地の取扱は慣習上外人の濫用に依り、土地所有權を明瞭となすの必要なきが爲、幾多紛爭の事は凡て解決を終りて永く其礎に置せられたり。

所の所々。朝鮮に於ては古來權利
 主體の觀念頗る散漫にして、土地所
 有の主體に付之れを見るも幾多の態
 度。或は日標と云ふも、何れも地
 所を數百段に居り永く錯綜せる土地
 關係の事件少なからず。如斯紛爭
 事件の多數なるを、其の内容の複雜
 なるは朝鮮民衆悉く他に類例を見ざ
 る所ならん。朝鮮に於ては古來權利
 主體の觀念頗る散漫にして、土地所
 有の主體に付之れを見るも幾多の態
 度。或は日標と云ふも、何れも地

權あり。例へば、市中財産の如き、河
里有財産の如き、船隻又は陸陸有財
産の如き、各條の移付財産の如き、
一種の公共的所有と認めたるを當然と
なすものあり、又掘取及び漁の如き
權利の目的物は之れを公共財産と見
做すを要する等、權利の性質及び其
行使の制限等、
妬妬の思好んで文記の偽造等造をな
し、又は他人の土地を冒認する等、
多不平等事件の行はるゝあり。然かも
内地人資本家の如き、未だ之等の内
地に通せざるものあり、不諳不知此
の政策に陷るものを生じ其の後土地
所有權に關する幾多の紛争を惹起す
得せるが如く、政府に於ても其の

の歸屬者の種類極めて複雑にして、之を今日の權利思想より區分して、或は公有を認め、或は其行を認めざる可からざる關係あり。加之權利家此等財産を私占管理し來りて、其の所有權を主張する亦少なからず。之れが爲め土地所有權に付幾多紛糾終り、何れの時に其の遠行を見るにに至りたる者多し、之れ亦所有の狀況により土地所有權を喪失するに至りたる者多し、之れ亦所有の權利の一因たり。

古來歴史に就ては一定の地域を存す、專ら所謂風水説に依りて城郭、方面及び地位を定め、他人の土地ならざるに論なく、

て、その事實を見るに、明らかに、
韓國政府時代にありては外國人に對し
一般に土地の所有を認めざりしかば、
明治初年以來外國人は或は朝鮮人
の名義を以て土地を買收し、或は
僅々二三年前にして之を廢止せる等
なり。而して墳墓の設定數年を以て
其の土地を借用せると

に、地契の一條に、之を忠實無遺及
江陵道の發行に施行し、土地に關
する權利の確保を要したりと雖も、
是の事實を以て之を廢止せる等
なり。而して墳墓の設定數年を以て
其の土地を借用せると

に至らず。明治廿七年地契條文を設
け、之を規定し、併令土地所有者の
之を以て、墳墓を附帶する

[illegible]

我托なるもの信じてゐるに、至れり。我
 托とは、人地に於て自己所有の土地を
 或る家又は團體勢家に託して他の
 團體家の請求を免がれ、又は他の
 團體家を隠しんが爲め所有權名義を一
 時変更するもの、謂なり。而して、或
 は人民より自ら進んで爲すもの、植
 藝家の贈進に依り止むを得ず、授托す
 るものとあり。又、單に土地の收益の
 みを授托するものと、土地並に收益
 を合せ授托するものとあり、授托行為
 に依りては其の目的區々に亘りたる爲
 め後日所有權の所在に付違ふの紛争
 を生じ、容易に之れが解決を見るに
 至らずして今日に迄なるもの亦尠か
 らず。
 要之、官民爭執の後を受け、地權の
 一官民爭執の後に、土地の勸
 奪權限を極めたることに依り、土地に
 開闢の權利の確立を、地主の
 なほ眞に想像たゞ爲し難き多量の土
 地争奪問題を見るに至れり。従つて
 我々、一、當時の環境、且つ
 政治家の志と有名な宋哲智と、
 なる宗旨の明であつた。北漢梁城の
 實に此に表はるる北漢梁城の
 點に於て、北漢梁城の
 兵の侵入をいふを去ること二十餘
 年に過ぎず、民を憐れむこと困難な
 りし爲實行の進に至らなかつた。顯
 宗を経て肅宗の二十八年に此の義勇
 發し顯宗の決せなかつたが、前節に流
 べたる如く、三十三年李滿堂の建議に
 よつて先づ漢陽郡城の修築に着手す
 ると同時に、副鎮大將李夏、御營
 大將全錫衡の兩人をして、解かに北漢
 山の形勢を調査せしめ、其復讐の結
 果、此の大險險要固く可からずと云
 つた。附し、北漢梁城の議を決し、
 たのは三十一年二月である。以上
 役を施したのは四月である。以上
 北漢梁城の修築を豫つたのである
 が、試に此の年月を余が肅宗期の最
 盛文字中に発見した年次（前節に

其の大部分を占むるの狀況にして、
 現に土地調査の進行に作らば、
 整理査定したる給事地事件は、大正四
 年度に於て八千七百餘件を受理し、
 大正五年以來四年度に至る歷年の受
 理件数を算べば、一萬一千七百九十
 件の多きを占む。内和解下決定等
 の處理件數九千三百九十五件にて差
 引き、其後尙ほ前案の中告は續出し當
 局は處理に忙殺せし居れり。

げた」と比較して見。北滿支城の
 始發は松東、遼陽、瀋陽の單大城に
 當るから、瀋陽城築成を終るを待つて
 北滿支の築城を始めたことが解るであ
 りなから。斯くて北滿支の築城は順
 年九月は山城に著し、四十一年になつ
 て北滿支山城より山下に遼東瀋陽
 の觀音を築し、更に山下を築てエ
 王山城、寧波の驛に達する城壁を築
 築いた。是が即ち沈陽城附近へ行け
 は直ぐ眼に觸れる西城であつて、宋
 時劉の所謂瀋陽の河口を遙かいた
 のである。由て沙河の城壁を貫く所
 に五間の大水門を設け、川に流うて

城壁文學

小田省吾

(第七) 肅宗朝及び其の
以後の都城修築
二、北漢山城の築造
肅宗朝都城修築の事を説くに當つて看過すべからざるは北漢山城の築造である。北漢山は頗る險要の地で且つ中々沿革のある所で、當時既に古代山城の遺址があつた。然るに漢陽の都城は泗水に過ぎず、雄くなく、且つ兵亂あれば必ず先づ都城を見棄てねばならぬことが従来の經驗で

實地應用

鐵筋コンクリート工學

工學主 瓜生康一君著

品質保證 廉價當

仁川本町四丁目

朝鮮總代理店

鐵筋白神洋行

定價 壹圓
次價 貳角
送星

帶草各種
バツキンダ
ピツカ
生皮齒車
鍛革組金具
其他工業用諸草

新田常草

◆ 大角寺特別五頁紙製版百六十餘個 正價貳圓卅錢 印刷

本書は裝飾コンクリートの實地應用に關し最も適切な事項を網羅し如何にせば建築の憂なき構造と果へ得べきかを説くを主眼とし、最も施工に重きを置き、努めて實際例に依りて具體的知識を理解せしむべく進んで基礎工・梁柱工・橋梁工・土壌掘填工・止水工・鑄造工・瓦葺工・屋敷工・塼工・欄干工・鐵骨工・鐵筋工・電柱工・枕木等全般に於て逐一設計圖及び寫真版を掲げて懇切周旋に説明するに弗りも建築に従ふ士は必ずす過すべからざるなり。

論荷も建築に従ふ士は必ずす過すべからざるなり。

各國時計
自轉車
蓄音器

直輸入 喜多金光堂

京成黃金町三丁目電話一〇一五番

振替口至七八二番

高工業

遠近に拘はらず男女共其手帳に座なが
道即ち來る路順に引出ゴム線料價與精
中東水久買物大原一ツカ
大阪東區通榮務所報の爲大特興あ
信國橋本町電話ヒガシ商會

移轉廣告

今般左記の處に事務所移轉仕候

廣江商會事務所

京城大和町三丁目二十三番地曹崎寺入口
電話一〇二八番

<p>實品</p>	<p>一</p>	<p>日韓善房</p>
<p>味淋</p>	<p>康</p>	<p>新報版</p>
<p>發</p>	<p>生</p>	<p>平家詩史</p>
<p>三巴酒造場</p>	<p>著</p>	<p>性論</p>
<p>京城蓬萊町</p>	<p>實地</p>	<p>歐洲政治學說</p>
<p>電話二〇六七番</p>	<p>鐵筋</p>	<p>論集</p>
<p>電話二〇六七番</p>	<p>工學</p>	<p>定価 圓八十錢</p>
<p>電話二〇六七番</p>	<p>定価 圓四十錢</p>	<p>定価 圓八十錢</p>

純良
燒酎
元賣
三巴大田支店
電話 二五番
三巴平壤支店
電話 國五一番

祝仁川支局發展

仁川驛前(電話五三九番)

祝仁川支局發展

新鮮雞卵

迅速配達

富牧場

電話三一九番

祝仁川支局發展

木材商

仁川濱町

二商會

電話五一〇番

祝仁川支局發展

うなぎかばやき

山行折詰排當

本

電話三二四番

店

祝仁川支局發展
かやいら手紋より
線香著荷仕候
仁川宮町
澁川
商
電話二二二番

祝仁川支局發展
仁川松坂町
豐田
商
電話六四六番

祝仁川支局發展
仁川新町
菓子卸商 大清菓子鋪
電話一四八番

祝仁川支局發展
仁川本町四丁目
林田支店 石炭部
電話四〇七番

祝仁川支局發展
仁川北町一丁目
木材商會
電話長三三番

祝仁川支局發展
仁川本町
千鳥正宗仁川支店
電話三五九番

祝仁川支局發展

石炭の安心
して買へる
店は何所へ
コークス
炭
炭
商
村谷石炭部
電話八ノ番振替東京五九番
品質優良と秤量の正確と配達の迅速に弊店の自標殊にコークスでは
良好に候時節柄更に今例過に諸君に仕御便宜相計し申候

祝仁川支局發展

角本丁(電話四二番)

慶田組輸出部
電話七二番

慶田組荷捌部
電話二七八番

仁川海路通税關前

仁川稅關構内

慶田組濱町出張所

其保生命保險株式會社代理店
仁川支那町

祝仁川支局發展

祝仁川支局發展
仁川吳服商組合

祝仁川支局發展

米雜穀委託賣買
仁川海軍町二丁目

尼崎汽船元極店
仁川海軍町三丁目電話長五九番電信略號夕又及夕力

高杉昇商店貿易部
仁川海軍町三丁目電話七六五番

高杉醬油釀造場
仁川萬石町電話七六五番

政友會の暗中飛躍

原總裁並に幹部の奔走、寺内伯
某代議士等の動靜探知に努む
政友會の暗中飛躍、原總裁並に幹部の奔走、寺内伯某代議士等の動靜探知に努む。寺内伯は、政友會の暗中飛躍、原總裁並に幹部の奔走、寺内伯某代議士等の動靜探知に努む。寺内伯は、政友會の暗中飛躍、原總裁並に幹部の奔走、寺内伯某代議士等の動靜探知に努む。

要は議會開會後に在り

日置前支那公使歸來談
日置前支那公使歸來談、要は議會開會後に在り。日置前支那公使歸來談、要は議會開會後に在り。日置前支那公使歸來談、要は議會開會後に在り。

勳章親授

島村 速雄
島村 速雄、勳章親授。島村 速雄、勳章親授。島村 速雄、勳章親授。

有賀博士

斯く記者に語る
有賀博士、斯く記者に語る。有賀博士、斯く記者に語る。有賀博士、斯く記者に語る。

露藏券募集

至りたる大衆にて予の立場を
露藏券募集、至りたる大衆にて予の立場を。露藏券募集、至りたる大衆にて予の立場を。露藏券募集、至りたる大衆にて予の立場を。

軍械新注文

郵船新航路開始
軍械新注文、郵船新航路開始。軍械新注文、郵船新航路開始。軍械新注文、郵船新航路開始。

民籍法の改正

民籍法の改正、民籍法の改正。民籍法の改正、民籍法の改正。民籍法の改正、民籍法の改正。

土地調査の進行

土地調査の進行、土地調査の進行。土地調査の進行、土地調査の進行。土地調査の進行、土地調査の進行。

大阪より

大阪より、大阪より。大阪より、大阪より。大阪より、大阪より。

大邸近作被害

大邸近作被害、大邸近作被害。大邸近作被害、大邸近作被害。大邸近作被害、大邸近作被害。

鮮鐵上旬の荷動

鮮鐵上旬の荷動、鮮鐵上旬の荷動。鮮鐵上旬の荷動、鮮鐵上旬の荷動。鮮鐵上旬の荷動、鮮鐵上旬の荷動。

北東の漁事

北東の漁事、北東の漁事。北東の漁事、北東の漁事。北東の漁事、北東の漁事。

地方経済

地方経済、地方経済。地方経済、地方経済。地方経済、地方経済。

モリソン博士

モリソン博士、モリソン博士。モリソン博士、モリソン博士。モリソン博士、モリソン博士。

公告

公告、公告。公告、公告。公告、公告。公告、公告。

京城地方裁判所

京城地方裁判所、京城地方裁判所。京城地方裁判所、京城地方裁判所。京城地方裁判所、京城地方裁判所。

京日案内

京日案内、京日案内。京日案内、京日案内。京日案内、京日案内。京日案内、京日案内。

新刊書御案内

新刊書御案内、新刊書御案内。新刊書御案内、新刊書御案内。新刊書御案内、新刊書御案内。

小内科

小内科、小内科。小内科、小内科。小内科、小内科。小内科、小内科。

「全くてゐる。参子は母の姿を認めた
としま目で仰ぎ見て、一息し、實はお
あの晩にあれば聞くとお約束した
ことですし、案内帳も残してある
んですから、必さへうしつこ下す
にござらない、一往還命づ

▲東華（市）の一（二）日本邦交貿易の士
鉄血女史の如き東北女傑あり（十号）
▲東洋報の如き其地あり

掌に試みの甘き酒を同
女たとの肌か唐風一夏酒
南乙の鳴り響く河洲哉
同

新刊紹介

「全くてゐる。参子は母の姿を認めた
としま目で仰ぎ見て、一息し、實はお
あの晩にあれば聞くとお約束した
ことですし、案内帳も残してある
んですから、必さへうしつこく下す
にござらない、一往還命づ

▲東華（市）の一（二）日本邦交貿易の士
鉄血女史の如き東北女傑あり（十号）
▲東洋報の如き其地あり

掌に試みの甘き酒を同
女たての肌か唐風一夏酒
南乙の鳴り響く河洲哉
同

新刊紹介

「さういふ、私しも大方磨うだらうと氣
を注ぎましたから、何にも言はずに」
寄る紙片を落して、さつさと通り抜
けて了ひました。あれを御覽くだ
すて。」

「兄よしたの。こつぱ指つて置いて
人の直ない所まで讀んで見たら、六時
半に隨先の此處に停つてゐると書い
てあつたからね。食堂へも行かずに
先刻から此處で野洒しよ。」

「酒みよせんではしたのね。」

「それはいいが、あの垣の蔭から覗
いてゐた女中さんは一體誰なの。
何だか薄く氣味の悪い目色だね。」

「髪を髷にゆつた背の高い女でせう
あれが、過日の晩、こちらにお話し
しました住江といふ意地悪ですね。」

さんのお出掛け。」

『わーっ!彼女かわ〜』

靜原君の眼は月明りにキラキラ光つた。

山田 天民

舞臺開きの情太多。潮紅半襦袢容何。芳
山華白人空遠。魂斷縹緲曲歌散。
兄弟鬩牆真可憐。呼郎喚妻果何緣。漫
々零路茫茫海。清怨恁々八百年。
客死他邦葬奉天。一曲竟笑太可憐。情
緒千年綠不凋。落花流水自闌珊。
感聲望土門碧落花。臨風大慟眞
心一片壓於石。千古風流幾見君。

水鳥の巢窟は根元を廻り見
出る麻に交差する蓬の直きかな
雨乞の古寺の太鼓鳴らし見
雨乞や鎮守の森に雄飛
拵て惜も昨日の飯を洗ひ免
鶏の巢白く潮水を眞似一つ
十七瀬打つ潮声の角と洗飯
馬宿に夕蘭の膳や洗ひ飯
天を燒く簍うさ江や雨祈新
水鳥浪湧し江と雨祈新
水噴喉に流して菓用の村
水販や駄馬提灯の動く軒
石投ふ水輪に搖るる浮葉哉
赤き灯のす麻も逢ま一夜酒
雨乞の銅鑼喧すし村社
逆に富士見る霞間浮葉哉
船舌を墓屋女房や洗ひ飯
飯吉や男娼の漕の宿
巢に遠く水鳥浮くや竹林島

同月 同有 同可 同榻 同中 同里 同風 同骨 同西 同水

波したるも漸く告所の準備中に餘念
取戻をなし得たり聞く所に依れば
一手段に依り迷速せし者多しと
御注意迄に(被害者の一人)▲小
は相當の年頃にして且つ獨立の生
を嘗み月收四十圓を超ゆれど一は
なる人間を嫌ふため一は自己の子
を不必要とするため一は黃色人種
に依頼的なために獨身主義を採
んば親心の前に罪人をなす怖れを
公衆に御教示を乞ふ(無名氏)▲
紙公州山城時祝句集申「一本の冷
ビール蘇る」は子規先生の句に「
悲のアイスクリムや蘇る」その
直しにあらずと思ふに全然冒作何
れば子規に等しき吾人は蘇ふよ

毎まい日にち

内 科 小 兒 科 入 院 隨 意

中 島 醫 院

院 長 中 島 貞 信

電 話 三 七 八 番

京 成 明 治 町 (元 芝 罌 埠 校 址)


數ある齒磨の中で

一番 良い


科学的

眞

大日本大阪商會



昔も
今も



効能で賣れる
ひまをきくの

金物電気商

京阪山陽通八軒目（佐久只井町）
新橋（池田）
（合計）販賣店

巴商行

京都黄傘町三丁目（永樂町東入）
東京神奈川鐵工所代理
電氣株式會計代理

電話 東京一四三五番

逆上を和下げ使過をよくし
濃毒其他汚毒を下す

衛兵長藤伊やふ七家木

欠かさず**クラブ**の齒磨をお使ひになれば化
 學作用で齒が強く美しくなり……口臭口熱
 が除れ……齒痛を未發に防ぎ……御氣分が
 絶えず清々しますから……活社會に立つて
 奮闘せらるゝ有爲の士は近來凡て**クラブ**の
 齒磨を賞用せられます

仁川新町
仁川宮町
京坂本町

津田
津田
津田

兄弟
兄弟
兄弟

屋屋屋

支支支

本店

店

電話七六二番 振替口座五三三八九番

原料

を使つかて居ゐるのは責せ任にんを重おもんする
洗粉あらひこ本店謹製てんきんせいの

クワッ
歯磨

錄日業營

鐘乾海雜
物物產
詰物穀

漆家文綿レヨハル
器具具農具
物

陶磁簾花
器器屏

器器風

荒履澤昆
物物茶庵
物物

乳雨
母傘

車

仁丹

暑熱に
仁丹

口中神丹

涼味萬劑

金言

賢推誠
者は遊み不
名は患く